

4) 体幹部の異常

体幹部でみられる異常のうち最も多いのは臍ヘルニアです。腹部は多くの筋組織で保護されていますが、お母さんのお腹の中にいる時に赤ちゃんはお母さんとへその緒でつながっていたため臍の部分が弱くなり、生後に泣いた時の腹圧で腸管などがでてくると臍ヘルニアになります。他の弱い部分としては足のつけ根があり、ここが膨らむとソケイヘルニア（脱腸）が生じます。通常1年以内に筋組織がしっかりしてきて臍ヘルニアは自然によくなってきますが、3歳を過ぎて来ると自然改善する事はほとんどなくなってきます。たまに質問がありますが、へその緒の縛り方などで臍ヘルニアになったりならなかったりする事はありません。



生後2ヶ月



1歳時（自然改善）



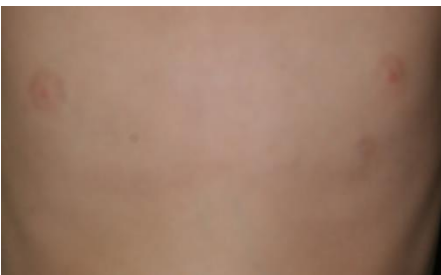
臍ヘルニア



手術後1年



15歳時



左副乳（5歳男児）



切除形成術後1年

生まれつき左の乳輪の下にもう一つ乳輪が見られた。